

「稽古会 1205@東京武道館」

去る令和3年12月5日(日)、約2年ぶりの開催となった東京学連剣友連合会の合同稽古会に参加させて頂きました。

日本国内では下火になってきたとはいえ、未だ世界中で感染が続いている新型コロナウイルスに対し予断を許さない中、万全の対策及び段取りを行って頂きました東京学連の役員幹事・実行委員会関係者の皆様には心より御礼申し上げます。

そして、160名あまりの参加者が集い大盛会となりました事、心よりお慶び申し上げます。

感染対策に伴う自粛期間の中、多くの大会・行事が中止の憂き目に見舞われました。

特に学生の皆さんの、情熱を燃やして挑むはずの大会に臨めなかった無念を思うと、言葉がありません。公共施設利用の制限により、所属道場での稽古及び連盟の合同稽古が大幅な縮小。各大学の施設を利用して開催していた東京学連の定例稽古会も例にもれず長期にわたる中断を余儀なくされました。私にとっては、剣友との交流の機会が大幅に失われたことが、何よりも辛いものでした。

多くの先輩方が同じような思いを持って過ごされていたと推察致します。

自粛の緩和に伴い剣道を取り巻く環境も少しずつ回復して参り、東京学連の稽古会の再開も心待ちにしておりました。学連剣友剣道大会の中止に伴う代替行事として、東京武道館を利用した稽古会が開催されるという話を聞き、とうとう再開かと心が躍る思いでありました。

私に限らず学連関係者の誰もが待ち望んでいた機会であったことは、例年をはるかに超える参加者の数が雄弁に語っている次第と思います。

会場ではマスク着用の上で大声の会話は控える等のマナーは守られつつも、確かな熱気を感じ、懐かしさと武者震いを覚えました。ご挨拶できた知己の先輩方とは近況を語り合い、お変わりない様子に安堵するとともに、中断期間を感じさせず接して頂けることに心から嬉しく思いました。あまりに多い参加であった為に、ご挨拶に伺えなかった先輩もいらっしゃいました。この場をお借りして、先輩方に失礼をお詫び申し上げます。

実際の稽古では、世代分けによる回り稽古から全体での自由稽古と、充実した内容。

お手合わせ頂いた先生先輩方皆様の中断期間を感じさせない気迫と動きに圧倒され、刺激を受け、負けまいと相対すること1時間余り。学連稽古特有の、まさに交剣知愛と形容するに相応しい雰囲気の中で、あっという間に感じる充実した時間を過ごさせて頂きました。

これまでも学連稽古会は各大学・各年代にわたる交流の場として大きな意義を持っておりましたが、今回の稽古会ではその意義を再確認するとともに、少しずつ日常が戻ってきているという実感と希望を、参加された先輩方各位がお持ちになられたことと思います。今後更に感染対策やウィズコロナの社会体制が構築されていく中で、今までのような稽古会や懇親会、そして学連剣友剣道大会が順次開催されて

いく。今回の稽古会開催は、そのような希望を抱く大きな一歩になったことと思われま

改めまして、開催にご尽力頂きました関係各位の先輩方へ、心から御礼申し上げます。参加させて頂き誠に有難うございました。

東京学連剣友連合会、益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

令和3年12月16日

明治大学 平成10年卒 澤井弘和